

こっこめ通信 07 2020

「身近な蝶と海辺の花」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

毎年夏休みに合わせ開催していた「光るキノコ無料観察会」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染リスクを排除することができないため、中止となりました。「光るキノコ無料観察会」を楽しみにしていた方々には、大変残念な事になってしまいましたが、きっとまた笑顔でお目にかかれる日が来る筈です。それまで、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めましょう。

さて今回は「きれいな蝶になるんだモン!」「海浜植物の顔」のお話しです。

きれいな蝶になるんだモン!

八丈ビジターセンターの Twitter にモンシロチョウの幼虫が蛹に脱皮する動画も載せました! 右の QR コードからご覧下さい⇒



今月初め、大根のお裾分けを頂きました。調理しようと大根を持ち上げると、緑色のいも虫が落ちてきました。葉っぱをよく見ると、卵もありました。調べてみると、それらはモンシロチョウでした。

日本人なら「モンシロチョウを知らない人はいないだろうな」と思えるくらい超有名な蝶ですね。菜の花畑をひらひらと飛び交うモンシロチョウはすぐに頭に浮かびます。でも「幼虫は?」と聞かれると「?」どんなだっけ? となる人も多いはず。そこで、今回はモンシロチョウの成虫になる前までの様子をご紹介します。(M.K.)



大根の葉の裏に産み付けられた卵。白から橙色に変わったら孵化はもうすぐ。



孵化した時は黄色い幼虫もだんだんと葉っぱと同じ緑色に変わってきます。



もりもり葉っぱを食べてサナギになる力を蓄えます。もうすぐサナギに大変身!



糸を吐きサナギになる準備を始めます。細長かった体が随分太短くなりました。

* サナギになるまで



9:47



10:05



10:08



10:11



10:14



10:35



3日後

突然じっとして動かなくなった幼虫は、最後の脱皮を始めました。2番目の↓のところから皮が割れ、サナギの背中が見えています。次の3番目の←の先に抜け殻があるのがわかります。およそ3分ほどで脱皮が終わり、お尻を振って抜け殻を落とし、サナギの形になりました。サナギになって1日目は幼虫だった時のいらぬ部分をドロドロに溶かし、成虫になるために体を作り変えています。3日後には羽などが透けて見えていました。

こうしてサナギになってから1週間後には美しい蝶になり、無事に外の世界に飛び立って行きました。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

海浜植物の顔

6月27日に予定していた八丈学講座「海浜植物観察会」は中止になったので、代表的な海浜植物の姿を紙上で楽しみ頂こうと思います。細かい部分が分かるように少しアップ気味の写真にしてみました。(T.K.)



クサトベラ

・八丈島で確認されているのはこの一株だけ。本来はもっと南の植物です。



ケカモノハシ

・イネ科独特の瓶洗いブラシのような雌しべが目立ちます。



スカシユリ

・海岸通りの道ばたで撮影しました。人家の庭でもよくみかけます。



斑点が無いスカシユリ

・画像処理した訳ではありません。珍しかったので紹介します。



ツルナ

・キャプテンクックのハウレンソウとも言われるそうです。



テリハノイバラ

・盛りの一輪を見ると本当に綺麗ですが、順を追って咲くので印象は地味？



ハマオモト

・黒潮の影響を受ける地方の海岸に生える代表的な海流散布植物。



ハマゴウ

・独特の香りがあります。乾燥した実を枕に入れておくと安眠できるとか。



ハマナタメ

・普通のマメ科の花と比べると上下が逆さですね。



ハマナデシコ

・まるで園芸植物のような派手な花。白花もあります。



ハマボス

・アップにするとお坊さんが使う払子には結びつきませんね。



ボタンボウフウ

・沖縄方面では長命草として有名ですが八丈島ではあまり利用されません。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。6月の季節調査はビジターセンター利用休止中のため、引き続きスタッフの研修も兼ねて14日（日）に実施しました。

八丈植物公園季節調査（2020年第6回）参加者：VCスタッフ 菊池、木下、奥山、長谷川

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			37	ニラバラン	咲き残り	16	ヒメユズリハ	若い実
1	アオスゲ	実	38	ニワゼキショウ	花と実	17	ホウライカズラ	蕾
2	アオツツラフジ	花	39	ネジバナ	花	18	ヤブツバキ	実
3	アオノクマタケラン	花、盛り	40	ノコンギク	花	シダ植物		
4	アメリカスズメノヒエ	花	41	ノチドメ	花	1	アマクサシダ	
5	アワゴケ	実	42	ハチジョウアザミ	蕾	2	イシカグマ	
6	イヌガラシ	花と実	43	ハハコグサ	花	3	オオイタチシダ	
7	イワニガナ	花	44	ハルジオン	花	4	オオタニワタリ	
8	ウスベニニガナ	花	45	ヒナギキョウ	花と実	5	オニヤブソテツ	
9	ウラボシコグサ	花	46	ヒメクグ	花	6	カニクサ	
10	オオアレチノギク	花	47	ヒメコバンソウ	実	7	シチトウハナワラビ	栄養葉のみ
11	オオニワゼキショウ	花と実	48	ヒメヨツバムグラ	花と実	8	スギナ	
12	オオバコ	花と実	49	ブラジルコミカンソウ	花と実	9	タチクラマゴケ	胞子葉
13	オニタビラコ	花	47	ヒメコバンソウ	実	10	タチシノブ	胞子葉
14	オニドコロ	花	48	ヒメヨツバムグラ	花と実	11	タマシダ	
15	オムナグサ	花	49	ブラジルコミカンソウ	花と実	12	ナチシゲシダ	
16	カタバミ	花と実	50	ヘラバヒメジオン	花、盛り	13	ナチシダ	
17	カニツリグサ	実	51	ミゾイチゴツナギ	実	14	ノキシノブ	
18	カラクサガラシ	花と実	52	ミツバ	花	15	ハカタシダ	
19	キランソウ	花	53	メヒシバ	花	16	ハチジョウカナワラビ	
20	ケキツネノボタン	花と実	54	ヤマヌカボ	実	17	ハチジョウシダ	
21	コケミズ	実	木本			18	ハチジョウベニシダ	
22	コケリンドウ	花	1	アカメガシワ	若い実	19	ハマハナヤスリ	胞子が熟す
23	コナスビ	花	2	イタビカズラ	実	20	ヒトツバ	
24	コニシキソウ	花と実	3	イヌビワ	実	21	ヘラシダ	
25	コハコベ	実	4	エノキ	実	22	ホシダ	
26	シチトウスミレ	閉鎖花	5	オオシマザクラ	実が残る	23	ホラシノブ	
27	シマササバラ	咲き残り	6	オオバヤシャブシ	実	24	マツザカシダ	胞子が熟す
28	シロツメクサ	花	7	オオムラサキシキブ	花	25	マメツタ	胞子葉
29	スズメノカタビラ	実	8	ガクアジサイ	花	26	ミゾシダ	
30	スズメノヤリ	実	9	カラスザンショウ	蕾	27	ヤマイタチシダ	
31	セイヨウタンポポ	花	10	タブノキ	実	28	ワラビ	
32	タチスズメノヒエ	花	11	テイカカズラ	花	今回はシダ植物 28 種を含む 102 種の植物を観察しました。調査中カラスバトの声が何度も聞こえ、アマツバメが盛んに上空をとんでいました。昆虫ではコシアキトンボやリュウキュウツツヤハナムグリが見られました。		
33	ツメクサ	花と実	12	トベラ	実			
34	トウバナ	花	13	ハゼノキ	実			
35	トキワハゼ	花	14	ハチジョウキブシ	実			
36	ナギナタガヤ	花	15	ヒサカキ	若い実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「イヌタマシダ」にスポットを当ててみたいと思います。



イヌタマシダ *Dryopteris hayatae* (オシダ科)

四国、九州、沖縄に自生する小型のシダ植物。

比較的暗く湿った崖に生えています。

伊豆諸島では八丈島だけに自生し、他の島では記録されていません。

八丈島でも個体数は決して多くないので、この写真を撮影した自生地が無くなってしまふと他の場所で見つけるのは大変です。

山の中で偶然に出会うと、興奮して疲れを忘れてしまうような植物がありますが、私にとってイヌタマシダもその一つです。 (T.K.)

2020 八丈ビジターセンター 7 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			1	2	3	4 ガイドウォーク
5 ガイドウォーク	6	小暑 7	8	9	10	11 ガイドウォーク
12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	13	14	15	16	17	18 ガイドウォーク
19 ガイドウォーク	20	21	大暑 22	23 ガイドウォーク	24 ガイドウォーク	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「大里歴史散歩」
26 ガイドウォーク	27	28	29	30	31	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

7/12 (13:30～15:00) 中学生以上

ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

中止の可能性あり・お問い合わせ下さい

八丈学講座 「大里歴史散歩」

毎月行っている八丈学講座。今月は八丈地区の歴史的遺物などを訪ねます。

7/25 (13:30～15:00) 中学生以上

陣屋跡 集合・解散 参加費：50円 定員：10名

中止の可能性あり・お問い合わせ下さい

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。

毎週 土日及び祝日 (10:30～約1時間) だれでも参加できます。

ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

当面の間は中止

ビデオプログラム

当面の間は中止

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2020.7.1 第230号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入館無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

7月になりましたが、夏休み特別行事は中止になり、定例行事も当面の間は中止となっております。今後は新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながらの再開を目指しています。もう少しお待ち下さい。ご理解とご協力をお願いいたします。(H.T)